大阪市立大学 R3 年度 (2021 年度) 前期 全学共通科目 解析 I *TI 電 (都 1 \sim 28)

期末レポート

提出締め切り 2021年7月27日23時59分00秒(日本標準時刻)

担当教官: 岩井雅崇 (いわいまさたか)

● 注意事項

- 1. 第1問から第4問まで解くこと.
- 2. おまけ問題は全員が解く必要はない.(詳しくは成績の付け方のスライドを参照せよ).
- 3. 用語に関しては授業または教科書 (三宅敏恒著 入門微分積分 (培風館)) に準じます.
- 4. 提出締め切りを遅れて提出した場合, 大幅に減点する可能性がある.
- 5. 名前・学籍番号をきちんと書くこと.
- 6. <u>解答に関して、答えのみならず、答えを導出する過程をきちんと記してください</u> きちんと記していない場合は大幅に減点する場合がある.
- 7. 字は汚くても構いませんが, <u>読める字で濃く書いてください</u> あまりにも読めない場合は採点をしないかもしれません.
- 8. 採点を効率的に行うため, 順番通り解答するようお願いいたします.
- 9. 採点を効率的に行うため、 $\underline{\nu ポートは \, pdf \, \textit{Tr} \, \textit{Tu} \, \text{形式で提出し}}$ 、 $\underline{\textit{Tr} \, \textit{Tr} \, \textit{T$

● レポートの提出方法について

原則的に WebClass からの提出しか認めません. レポートは余裕を持って提出してください.

<u>レポートは pdf ファイルで提出してください</u>。また WebClass からの提出の際, 提出ファイルを一つにまとめる必要があるとのことですので, 提出ファイルを一つにまとめてください.

採点を効率的に行うため、ファイル名を「int(学籍番号).pdf」とするようお願いいたします。(int は積分 (integral) の略です。) 例えば学籍番号が「A18CA999」の場合はファイル名は「intA18CA999.pdf」となります。

● 提出用 pdf ファイルの作成の仕方について

いろいろ方法はあると思います.

1つ目は「手書きレポートを pdf にする方法」があります。この方法は時間はあまりかかりませんが、お金がかかる可能性があります。手書きレポートを pdf にするには以下の方法があると思います。

- スキャナーを使うかコンビニに行ってスキャンする.
- スマートフォンやカメラで画像データにしてから pdf にする. 例えば Microsoft Word を使えば画像データを pdf にできます.
- その他いろいろ検索して独自の方法を行う.

2つ目は「TeX でレポートを作成する方法」があります。時間はかなりかかりますが、見た目はかなり綺麗です。

いずれの方法でも構いません. 最終的に私が読めるように書いたレポートであれば大丈夫です.

● WebClass からの提出が不可能な場合

提出の期限までに (WebClass のシステムトラブル等の理由で) WebClass からの提出が不可能な場合のみメール提出を受け付けます. その場合には以下の項目を厳守してください.

- 大学のメールアドレスを使って送信すること. (なりすまし提出防止のため.)
- 件名を「レポート提出」とすること
- 講義名、学籍番号、氏名 (フルネーム)を書くこと。
- レポートのファイルを添付すること.
- WebClass での提出ができなかった事情を説明すること. (提出理由が不十分である場合, 減点となる可能性があります.)

メール提出の場合は masataka[at]sci.osaka-cu.ac.jp にメールするようお願いいたします.

期末レポート問題.

第1問. (授業第9,10回の内容.)

次の(1)から(4)までの不定積分を求めよ.

(1).
$$\int xe^{x^2}dx$$
 (2). $\int \frac{x^3-1}{x^2+1}dx$ (3). $\int \frac{2}{x(x-1)(x-2)}dx$ (4). $\int \frac{1}{x\sqrt{x+1}}dx$

ただし答えを導出する過程を記した上で、答えは次のように書くこと.

(例題) $\int \sin x dx$

(答え) $\int \sin x dx = -\cos x$

第2問. (授業第9,10回の内容.)

- (1). a を正の実数とし、f(x) を [-a,a] 上の連続関数とする. 任意の $x\in[-a,a]$ について f(-x)=-f(x) であると仮定する. このとき $\int_{-a}^a f(x)dx=0$ であることを示せ.
 - (2). 次の定積分を求めよ.

$$\int_{-2}^{2} \left(x^3 \cos \frac{x}{2} + \frac{1}{2} \right) \sqrt{4 - x^2} dx$$

第3問. (授業第9,10,11回の内容.)

$$I = \int_0^{\frac{\pi}{2}} \log(\sin x) dx$$

とおく. 以下の問いに答えよ. ただしこの広義積分が収束することは仮定してよい. (したがって 置換積分法や部分積分法などは自由に使って良い.)

- (1). $I = \int_0^{\frac{\pi}{2}} \log(\cos x) dx$ を示せ.
- (2). $2I = -\frac{\pi}{2}\log 2 + \int_0^{\frac{\pi}{2}} \log(\sin 2x) dx$ を示せ.
- (3). $\int_0^{\frac{\pi}{2}} \log(\sin 2x) dx$ を I を用いて表せ.
- (4). Iの値を求めよ.

第4問に続く.

第4問. (授業第11回の内容.)

p を実数とする. 広義積分

$$\int_{1}^{\infty} (1 + 2\sqrt{x})^{2p} \log x \, dx$$

が収束するようなpの範囲を求めよ.

期末試験おまけ問題. (授業第11回の内容.)

次の問いに答えよ.

(1). 広義積分

$$\int_0^{\frac{1}{2}} \frac{1}{x(\log x)} dx$$

は収束するか発散するか. 理由とともに答えよ.

(2). 広義積分

$$\int_0^{\frac{1}{2}} \frac{1}{x(\log x)^2} dx$$

は収束するか発散するか. 理由とともに答えよ.

以上.